



議会だより

でいすかす

134号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2026.11.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、
議会の活動や各種情報をご覧くださいませ



▲当日の集合写真

市議会としては、議員会役員
会主催の行事でもあり、家族で
の参加も含め、まち全体のお祭
りとしてさらに盛り上がるよう
今後も参加を続けます。

(天神林)

今回は、市議会の列にスター
トから子どもが参加し、他の団
体でも家族での参加が増えてお
り、地域の世代を超えた交流が
一層深まりました。

8月30日に開催された第63回
登別地獄まつり鬼踊り大群舞に
市議会として参加しました。
今年の鬼踊りも例年同様、多
くの観光客や来場者が一緒に踊
る登別温泉の夏の風物詩として
盛り上がりを見せました。

地獄まつり

「鬼踊り大群舞」

に参加

令和8年第3回定例会 一般質問

[令和8年9月14日(月)～9月17日(木)]

議員11名が
市政を問う



▲定例会最終日の集合写真

令和8年第3回定例会における 議案の賛否状況

第3回定例会で上程された議案はすべて
可決されました。

目次

委員会だより	②ページ
一般質問、その他	③～⑤ページ
補正予算審査、議会フォーラム	⑥ページ

政策提言に向けて

総務・教育委員会

本委員会では、令和7年度から令和8年度にかけて未来へつなげる公共施設整備の監視とキャリア教育の推進についてを重点活動テーマとして取り組んできました。

令和7年度には大分県日出町のショッピングセンターに併設された図書館と福岡県飯塚市のキャリア教育の取り組み、令和8年度には群馬県沼田市の包括施設管理の取り組みと埼玉県北本市の公共施設マネジメントの取り組みについて視察研修を行いました。

また、視察報告会や議会フォーラムでいただいた皆様の意見を、今年12月を目途に政策提言に向けた活動を行います。

(戸井)



条例制定に向けた調査と意見交換

生活・福祉委員会

こども・若者の声が届くまちを目指し、(仮称)登別市こどもの権利条例制定に向けた調査を進めています。

7月には川崎市と世田谷区を視察し、相談・救済制度や意見表明の仕組みなどを学びました。7月～8月に開催したワカモノ会議や議会サポーターとの意見交換では、視察内容を共有し、条例の名称や内容などについて意見をいただきました。

9月には、専門的サポーターとして、札幌大学の伊藤健治氏から条例の理念や制度設計、これまでの声を聴く取り組みについて専門的な助言を受けました。

今後も寄せられた意見を踏まえて検討を重ね、12月定例会への提案を目指します。

(宮武)



持続可能な観光地づくりを学んだ

観光・経済委員会

今回、小豆島町・土庄町および道後温泉の観光振興について視察し、観光客数の増加だけでなく、地域の自然や文化、産業暮らしを生かし、地域の持続的な発展につなげる視点が重要であると感じました。

島はひとつという理念のもと、行政や事業者、住民などが連携する姿勢や道後温泉の工事期間を新たな観光機会として活用する発想は大変参考になりました。

本市においても、温泉や自然歴史、食、アイヌ文化などの地域資源を生かし、行政や事業者、住民、企業、大学、周辺自治体と連携しながら、地域経済や関係人口の拡大につながる持続可能な観光地づくりを進めることが重要だと感じました。

(工藤)



議会フォーラム開催概要決定

広聴・公開委員会

広聴活動である議会フォーラムの開催概要を決定しました。11月16日(月)、市内3会場で開催します。メインテーマは「10年後の登別について」とし、意見交換テーマは3常任委員会ごとに設定します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。(詳細は別途お知らせします。)

また、広報活動の新たな取り組みとして、一般質問の内容をSNSへの動画投稿の試行・検証を進めています。

現在、投稿までの作業工程を検証しており、12月の第4回定例会一般質問に合わせ、SNSへの告知ショート動画の投稿準備を進めています。

(成田)



定数16名の議会体制へ向けて

議会運営委員会

議会運営委員会では、議長から諮問された事項について協議を進めています。

①議員定数16名を見据えた議会運営体制では、現在の3常任委員会を総務・経済委員会と福祉・教育委員会の2常任委員会へ再編し、併せて議会運営委員会などの構成や委員欠席時の代理出席、視察・研修の在り方などを整理しました。

②政策サイクルの導入と議員力・議会力の向上では、第三者研究機関などの活用や市民との意見交換の継続・充実、既存制度を生かした研修の実施と成果の情報提供などについて整理しました。

③議員報酬の在り方についても引き続き協議を進めています。

(今野)



これからの学校再編と
学校跡地の活用

宮武祥子



宮武議員の
一般質問
中継はこちら

声を拾う場を設けたい。
【質】旧幌別東小学校跡地のトライアル・サウンディング終了後、民間の柔軟性を生かし、スポーツ活動の場として活用する考えは。

【質】登別小学校を小規模特認校とするに当たり、特色ある取り組みについて、子どもたちの意見を聞く考えは。

【答】子どもたちの声は大切にしなければならぬ。令和12年度までの小規模特認校への移行に向け、子どもたちの

切羽詰まった状況に
話し合いの場設置へ

辻弘之



辻議員の
一般質問
中継はこちら

手確保にも直結することから、全庁的に取り組む重要課題として、まちぐるみで連携して話し合える場を設置するべきではないか。

【答】青嶺高校は本市のまちづくりに非常に寄与しており、存続は行政課題。学校の存続は切羽詰まった段階にきていると認識しており、将来のまちづくりと学校の存続をつなぐ話し合いの場を設置していく。

【質】青嶺高校の入学人数は令和6年度120名から令和8年度58名へ急減した。高校の存続はまちづくりの課題であり、産学官連携による魅力化などの支援推進が必要ではないか。
特に、若者の定着や地域産業の担い

また、高校生のいる家庭へのこどもファースト施策の検討が充分ではなかったことから、通学費やデバイス購入費などの子育て負担軽減について、広く検討していく。

立地適正化計画における
居住誘導区域の設定は

井野正臣



井野議員の
一般質問
中継はこちら

これからの都市空間を考える上で沿岸地区をどのように位置付け、都市インフラを考えていくのか。

【答】本計画における居住誘導区域は、将来にわたり人口密度を緩やかに維持・誘導していくための区域である。

誘導区域から除外した沿岸地区においても既存インフラを即座に縮小・削減するものではない。

【質】立地適正化計画の居住誘導区域で災害リスクが高いエリアとして線路から海沿いを除外して設定したことについて、勇気ある決断と感じる一方、現実として住居を構えられている方々にとっては不安も大きいと推測される。

沿岸地区は、本市の骨格となる幹線道路をはじめ、主要な上下水道の幹線管路が整備されており、重要な地域と位置付けている。地域ごとの役割や特性を踏まえ、沿岸地区の基盤インフラを適切に維持・更新していく。

フェーズフリーで進める
実効性ある防災対策へ

今野幹太



今野議員の
一般質問
中継はこちら

尊重しながら、平時から考えなければいけないことは重々承知している。車避難については、市の考え方としてはまだ不完全である。

高台の道路への縦列駐車や緊急時に民有地・農地などを一時的な駐車場所として活用することなども含め、現実的な避難方法を検討する必要がある。

今後は、防災訓練なども活用しながら、市民への情報提供・情報共有を充実させ、災害種別に応じた避難方法や平時から備えておくべき考え方を再整理し、周知徹底していく。

【質】計画が「あるか」から「機能するか」、「避難できた」から「避難後も命と健康を守るか」と平時から災害時そして生活再建まで切れ目なくつなぐ地域づくりへ転換する考えは。
【答】フェーズフリーの考え方を重視、

猫の登録制度

導入に向けて

足立知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

質 本市の猫の飼育頭数は。

答 狂犬病予防対策として登録が義務化されている犬とは違い、市では猫の飼育頭数は把握していない。

質 猫の登録制度を導入している自治体の把握について伺う。

答 令和8年9月現在で把握できている範囲では、全国で8市5町6村の合計19自治体であり、条例によるものが10自治体、そのほかが9自治体となっている。

質 制度導入の効果について伺う。

答 苦情等の相談件数の減少や登録を条件に不妊等手術の際の補助金を交付することで、飼養環境の改善に繋がった事例があると承知している。

質 猫の登録制度について具体的な検討を始める考えは。

答 先進地の取り組み状況や道内自治体の動向、市民の機運の高まりなどを見極めながら研究していく。

本市の未来を拓く

道の駅構想を問う

岩田恵



岩田議員の
一般質問
中継はこちら

質 道の駅整備の必要性和地域活性化および市内周遊の拠点としての可能性の考えを伺う。

答 道の駅は観光客の市内での滞在時間延長として有効と考えており、例えば、登別温泉を訪れた観光客の誘導や

日帰り客の増加を図ることができれば、市内消費の拡大などの可能性がある。

しかし、今後の本市は、市立図書館の移転や学校給食センターの検討、子育て支援の充実強化など、喫緊の課題があり、現時点においては、道の駅整備の具体的な検討は進めていない。

道の駅の整備に限らず、今後も引き続き、さまざまな手法により市内経済の活性化に取り組んでいく。

そのほか、旧幌別東小学校跡地を道の駅または道の駅的機能を有する施設の候補地として検討する可能性やこれまでの課題と実現に向けた取り組みについてなどを質問しました。

雨水管渠整備計画の

予算規模は妥当か

天神林美彦



天神林議員の
一般質問
中継はこちら

質 近年は全国的に短時間豪雨の発生が増えており、冠水や浸水リスクが高まっていることから、市が進めている雨水管渠整備計画の着実な実行が求められている。

一方で厳しさを増す財政状況下において、

いて、12年間で約31億円と非常に金額が大きい事業計画であることから、予算規模の妥当性と今後の建設コスト上昇時の対応について確認したい。

答 雨水管渠整備計画は、前提条件として掲げている下水道の事業経営や市の財政運営の安定性を堅持しながら着実に整備を進めており、登別市下水道事業経営戦略と整合を図り策定した計画であるため、予算規模は妥当である。

また、懸念されている建設コスト上昇には、国の社会資本整備総合交付金の活用と後年度に過度な負担が生じることがないよう事業費の平準化を図り、経営の安定性を確保して進める。

公共交通空白地域の

実証実験の結果は

若木康夫



若木議員の
一般質問
中継はこちら

質 公共交通空白地域の移動支援策について、高齢者から要望の高い事業であることを本市は把握しているのか。

答 常盤町・柏木町地区と登別地区の実証実験やアンケートを通し、高齢者からの要望が高いものと認識している。

質 常盤町・柏木町地区の実証実験を踏まえ、当該地区での定時路線型のバス運行を実施する考えはあるのか。

答 交通事業者には配慮した仕組み構築に加え、運転手確保などの課題もあり、定時路線型のバス運行は難しい。

質 登別地区での実証実験の結果から、同地区での本事業の現実性は。

答 同地区における実験の結果は、1カ月の短期間（実質稼働日数は8日）であったが、一定程度の利用実績が確認でき、登別地区の特性から、持続可能な移動支援策の実施に向け、さらなる実証実験の実施と交通事業者との協議を重ねながら検討を進めていきたい。

質 (仮称) 中央地区活性化プラン策定の遅れや市民・議会への情報提供不足、進捗管理の不透明さなど、複数の課題が散見されるが、全体最適を図るべき司令塔機能が不明確であったことが根本原因ではないか。



成田議員の
一般質問
中継はこちら

庁舎跡地活用と
中央地区活性化のかじ取り役は
成田昭浩

質 本市の家庭系ごみの衣類の現状は。
答 家庭系可燃ごみに占める布類の割合は8%で、排出量に換算すると令和7年度で約550tの衣類が可燃ごみとして排出されていると推計される。
質 商業施設などで回収している衣類



佐々木議員の
一般質問
中継はこちら

ごみ減量のために
衣類のリサイクルを
佐々木久美子

明確な目標やプラン、進捗管理、評価、優先順位、資源配分、さらに情報提供や市民参画までを総合的に統括する庁内横断の司令塔機能は不可欠であると考え、中央地区活性化を市全体の戦略としてどう統括していくのか。
答 司令塔機能を含め、庁内の推進体制は機能していると認識している。
新組織を設けるのではなく、総務部が中心となり調整や進捗管理を担い、必要に応じて庁内横断組織も活用しながら各部署が一体で取り組む。
また、民間事業者など庁外とも連携し、効果的・効率的に進めていきたい。

はどのようにリサイクルされているか。
答 ウェスなどのリサイクルや中古衣料として国内や海外でリユースされていると認識している。
質 本市では町内会で新聞やダンボールなどの集団回収をしているが、この対象品目に衣類は含まれているか。
答 衣類などの古布が対象となる。
質 集団回収での衣類の回収実績は。
答 平成21年度から平成24年度までで169kgであり、全体の1%以下である。
質 今後の公共施設における民間の回収ボックス設置についての考えは。
答 本市の実情にあった方法で取り組んでいきたい。

国会・政府・北海道に5件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。

第3回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

非核三原則の堅持と遵守を求める意見書の提出について
アメリカ産の生食用ジャガイモの輸入解禁を行わないことを求める意見書の提出について
道立高等学校における空調設備の早期整備及び財政支援の拡充を求める意見書の提出について
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書の提出について
軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書の提出について

令和8年第4回定例会は
11月27日(金)から開催される予定です。

議会中継を見ませんか？

本会議や各委員会は、自由に傍聴することができます。

また、スマートフォンやパソコンで、生中継、過去の録画中継をご覧ください。



質 本人や家族からの相談を待つだけでは早期支援には限界があると考え、今後、地域包括支援センターや民生委員、医療機関、介護事業所などの連携によって認知症が疑われる方への早期の支援につなげるアウトリーチの



工藤議員の
一般質問
中継はこちら

認知症の人と生活できる
まちづくりを
工藤健二雄

仕組みを強化する考えはあるか。
答 認知症が疑われる方への早期の支援につなげるためには、日頃から高齢者と関わり合いのある施設や地域の方々の気づきが重要と考えている。
地域包括支援センターを中心にかけつけ医や医療機関、介護サービス事業所、町内会などと連携を深め、早い段階で相談や情報共有できる体制を整えたい。
また、市民の皆様が認知症を知ってもらうため、市内商業施設において認知症予防フェアの開催や認知症の方との接触を学ぶことも目的としたはいかい模擬訓練も実施している。

予算・決算委員会（令和8年度補正予算審査）〔令和8年9月28日(月)〕

補正予算はすべて可決しました。
主な質疑の内容は以下のとおりです。

【ウイスキー蒸留所設立へ】

旧婦人センターを活用し、ウイスキー蒸留所を設立する事業へ補助金を交付します。

施設改修や蒸留機器、熟成樽の購入などに対して支援を行います。

他自治体の事例も参考に、本市の地域性を生かし、新たな特産品開発や観光客の滞在時間増加など、地域経済への波及効果が期待されています。

一方、製品の熟成まで長期間を要する事業のため、本市と事業者、金融機関が連携して経営状況を確認し、持続可能な事業となるよう進捗を管理する考えが示されました。

【路線バスのキャッシュレス化】

市内を運行する91台のバスへのキャッシュレス決済機導入経費に対し、西胆振の市町と連携して支援します。

さらに注目すべきは、このシステム導入を契機として、生活圏が一体である室蘭市と歩調を合わせ、本市の課題である高齢者の移動支援策についても検討を進めるとの答弁がありました。

日々の移動手段の確保に向けて、今後の動向を注視していきます。
(注)

第19回 議会フォーラムを開催します！

今年で19回目となる議会フォーラムを開催します。

活気あふれる登別の未来について一緒に考え、あなたの声を議会に届けませんか。

日程

11月16日(月)

時間	場所
14時00分～15時30分	ヌプル
16時30分～18時00分	市民会館
18時00分～19時30分	鷺別コミュニティセンター

テーマ

10年後の登別について

内容

- ・各常任委員会の活動報告
- ・意見交換

総務・教育委員会、生活・福祉委員会、観光・経済委員会から一つずつ示されるサブテーマに沿って意見交換

総務・教育委員会

公共施設の今後

生活・福祉委員会

こどもと大人、みんなでつくるまち

観光・経済委員会

持続可能な観光地づくり

申し込み

11月8日(日)までに申し込みフォームか電話
(☎09220)で議会事務局



◀申し込み
フォーム

皆さんの意見が未来の登別をつくる力になります。
ぜひ、お気軽にご参加ください！